

be between 読者をつくる

おみくじで「凶」が出たらへこむ？

恐怖の大凶3連発

「初詣のおみくじで凶なんて引かないでしょ」と鼻で笑っている、そのあなた。世の中、甘く見すぎている。「約20年前、一緒に神社へ初詣に行った友だちは、おみくじが、まさかの大凶3連発だったんです」と大阪の女性(41)は、いまだに信じられないような口ぶりで言う。

友人は女子大の同級生。就職活動を控えていたので、ふたりとも大吉を引いて景気が上ったかと思われたが、引いたのは大凶。あわてて別神社で引き直させると、まさかの大凶。血の気を失って、隣の彼女を、さらに別の神社へ連れて行き、祈りをこめて引かせると、やはり大凶が

富山市にある真国寺では毎年1月、江戸時代に流行した「おみくじの原型」となった「元三大師御籤」を再現した「新年おみくじの集」を開いている。この古式もかきおみくじは3割が凶。永田円了住職(65)は凶はありがたしと説き、引かれるたびに拍手がわきおこると言う。平安時代の天台宗の高僧「元三大師が詠んだ五言

あけましておめでとびなごます。初詣には、もう行かれましてか？ 過去のあやまちは水に流して神仏に願をかけ、やる気スイッチを威勢よく押し直しましょう。でも、そんなときに限って出るんですよね、あれが、おみくじの凶が。みなさん、大人だから平静をよそおってこるけど、本当のやみくじ、思ひきりへこんでませんか？

出てしまったというのだ。「彼女がついに身配し始めたので神主さんが心配して、大吉のおみくじを、たくさんプレゼントしてくれました」今回のアンケートでも、初詣でおみくじを引くことが習慣

関西のある主婦(50)は「おみくじを封印し、家族の性になつていっている人の約半数に、凶を引いてしまった苦い過去がある。それも場合によっては、かなりの深手のトラウマになつてしまっている」。絶句の漢詩100首を一番から百番までの札紙に割りふり、吉凶とともに漢詩の和訳が添えられている。たとえば、30枚ある凶の札のひとつ、百番の漢詩には「世の中に失望し山奥にはまわって抜け出せなくなつているときに、未知の世界から降りてくるお告げなんです。凶はけつして不吉なもので、成長する機会を与えてくれる。だから、ありがたいです」

はい 38%

いいえ 62%

▼「はい」の人が答えました その理由は何? (三つまで選択)

凶の字のイメージが不吉 354人

凶はほとんど出ないはず 265

それ相応の理由はあるはず 245

神仏のお告げだから 148

占い全般を気にする 94

実際に不幸な目にあった 44

その他 91

▼「いいえ」の人が答えました その理由は何? (三つまで選択)

占い全般を気にしない 536人

お楽しみのイベントにすぎない 466

もともと信心がない 460

一定の確率で出るもの 456

警告として前向きにとらえる 395

凶が出てもいいことがあった 64

その他 158

▼「はい」の人が答えました 凶が出たらどうする? (三つまで選択)

境内の指定場所に結ぶ 614人

他人に見せて同情をかう 89

参拝し直す 89

吉が出るまで引き直す 82

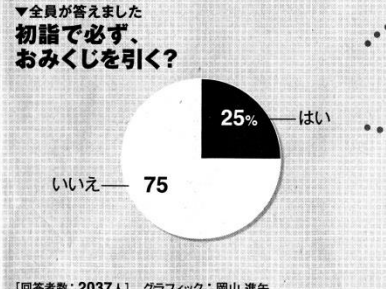
戒めとして持ち帰る 76

他人には見せない 64

さい銭を多めにあげる 37

おはらいなどで厄を落とす 30

その他 69



▼「はい」の人が答えました 凶を引いたことがある? 49

はい 51%

いいえ

▼「はい」の人が答えました 個々の運勢は、どれが気になる? (複数回答、12位まで)

病気—398人 失物—80 学問—61

願望—371 恋愛—71 相場—37

旅行—113 待人—69 縁談—37

商売—112 争事—68 転居—34

のだれにも引かせないと誓っている。「去年の初詣で初めて凶を引いた77歳の父親が、ひと月後に脳出血で倒れ、秋に亡くなってしまいました。毎日、スポーツジムに通う健康自慢だったのに。おみくじを引かなければよかったといまだに悔やんでいます」

ギネス級の高確率で、凶を引きまくっている人もいる。静岡の女性(42)は「子どものころから、おみくじを引くと、80回に1回は凶。いままでに通算、百回以上は凶を引いていきます」。

「でも、凶は、この先、何をやるにしてもダメ元と思えるから、かえって落ち着いているんです」

たしかに、物は考えよう。「大学受験を控えた高校3年の正月、合格祈願した神社でおみくじを引いたら凶。だが、これ以上、悪くならぬと発誓したら、志望大学に受かった」(広島、74歳男性)

「新婚時代、夫と神社に参拝したついでにおみくじを引いたら、ふたりとも凶。こんなことで面倒になる、ずっと仲良しでいられるを確信できた」(奈良、59歳女性)

でも、正月から大凶は…



朝日新聞に真国寺の「おみくじの会」の記事が記載

(保科龍明)